

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

城北小	学校	児童数	36
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.46	21.75	32.75	40.46	60.85	9.29	154.14	24.42	55.27
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.68	17.84	39.67	37.42	38.50	9.81	140.84	14.42	55.88
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点においては、男子は55.27点、女子は55.88点となり、男子女子ともに大阪市平均及び全国平均を上回る結果となった。男子は、長座体前屈以外のすべての種目で大阪市平均を上回り、さらに長座体前屈と反復横跳び以外のすべての種目で全国平均を上回る結果だったが、柔軟性に課題があることがわかった。女子は、上体起こしは大阪市平均・全国平均を下回ったが、反復横跳び、50m走、立ち幅跳びで大阪市平均を上回り、その他のすべての種目で全国平均を上回った。瞬発力等、筋力に課題があることがわかった。

質問項目「運動が好き」について、肯定的な回答をした児童は、男子が85.7%、女子が79%という結果となり、学年集団として概ね運動することが好きであることがわかった。一方で、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が7%、女子が17%おり、日常的に運動に親しんでいない児童がいることも判明した。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和7年度は、体育科の研修として、水泳や鉄棒、跳び箱、ボッチャなどを経験のある教員が講師となって研修会を実施した。

また、区役所の運動能力向上事業を利用して、5年生に「走り方」、4年生に「リズムダンス」、1年生に「水泳」の授業を行った。専門の講師による指導で、運動能力と運動に対する関心を高めることができた。また、教員もともに参加することで、指導技術の向上にもなった。

運動習慣をつけるために、これまでと同様に運動強調週間に取り組んだ。特になわとび運動については、なわとび台の常設やリズムなわとび、横並び交互二人とびなど、新たな取組を計画・実施し、これまで以上に活性化を図った。

今後は、運動場や体育館の環境整備を進め、休み時間に児童自らが運動できるような外遊びの活性化を行っていく。